

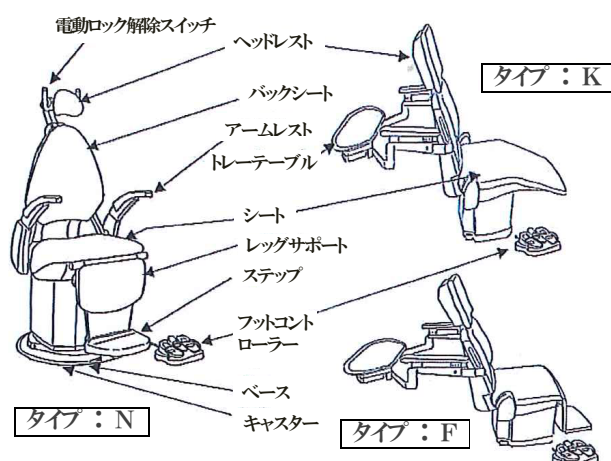
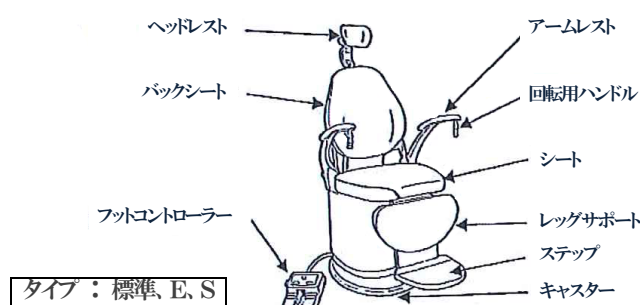
機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 汎用診療・処置台 (JMDNコード: 13958000)

特定保守管理医療機器

オウリストチェアー NDT

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造等 *



本器には以下の種類がある。

		タイプ					
		標準	E	S	N	K	F
バックシート形状	電動	○	○	○	○	○	○
水平回転	電動		○				
	手動	○		○	○		
ヘッドレスト スライド	電動	○	○		○	○	○
	固定	○	○	○	○	○	○
治療ポジション自動設定		○	○		○	○	○
ヘッドレスト 固定	手動	○	○	○	○	○	○
	電動		○		○	○	○
キャスト格納 ※1	電動		○		○		
	手動		○		○		
トレー	手動					○	○
	固定					○	○

本器はヘッドレスト、バックシート、シート、レッグサポート、ステップ、アームレスト、フットコントローラー、ベース、キャスト、術者用アームレスト、トレーなどにより構成する。

※ 1：取り付けない場合がある

2. 動作原理 *

使用者によるフットコントローラーなどの操作に基づき次の動作を行う。

- (1) 油圧モーターを制御し、油圧によるチェアー部の上昇・下降、及びバックシート部・レッグサポート部の起立・傾斜動作を行う。またオートポジションスイッチの操作により、あらかじめ記憶した位置へ変更できるタイプがある。(オプション)
- (2) ヘッドレストは患者の頭部を保持し、使用者が治療しやすい位置に任意で角度変更を行う(手動式)。
また、モーター制御で角度変更及び座面からの高さを調整できる電動式(オプション)、角度変更を行わない固定式(オプション)がある。
- (3) チェアー部は手動により水平回転を行うことができる。
また、モーター制御で水平回転を行う。(タイプEのみ)
- (4) トレーテーブルを装備する場合がある。(タイプK、Fのみ)
診療時に使用する器具などを置き、手動で任意の位置に配置する。
- (5) チェアーを移動させたい場合は格納したキャストを展開する。(タイプE、Nのみ)

3. 寸法、質量

(1) 寸法

タイプ標準、E、S：幅610×全長1,710mm

タイプN：幅600×全長1,660mm

タイプK、F：幅600×全長1,830mm

(2) 質量

タイプ標準、E、S：約145kg

タイプN：約165kg

タイプK、F：約130kg

4. 電気定格

(1) 定格電圧：AC100V (50/60Hz) *

(2) 電源入力：1.0kVA

(3) 電撃に対する保護の形式：クラスⅠ機器

(4) 電撃に対する保護の程度：B型装着部

【使用目的又は効果】

診療または処置のために用いる汎用の診療・処置台。

基礎機能(昇降・傾斜)を備える。診療室または手術室において用いる。電動式。*

本製品には取扱説明書がありますので必ず確認してください

【使用方法等】*

1. 使用環境条件

下記の条件にて使用すること。

- (1) 周囲温度：10 ～ 40℃ *
- (2) 相対湿度：30 ～ 75%RH（結露しないこと）
- (3) 気 圧：700 ～ 1,060hPa

2. 取り付け・設置（組立て・据え付け）

機器の取り付け・設置は専門の技術者（当社又は当社指定の業者）が行う。

3. 使用方法

- (1) 介助者の準備が終われば本器のメインスイッチを ON にする。
- (2) 患者さんをチェアに座らせる。
- (3) フットコントローラーを操作し、シートを診療位置まで上昇させる。
- (4) 必要に応じてチェアを回転させ、バックシートを傾斜させ、ヘッドレストの角度を調整し、患者さんの治療部位を術者の適した診療位置に配置する。
- (5) 必要に応じて、別途設けたユニットよりスプレーシリンジ、通気、吸引ホースなどを引き出し、耳鼻咽喉科の診療を開始する。
- (6) 診療が終わればスプレーシリンジ、通気、吸引ホースなどを元の位置に戻す。
- (7) 患者さんをチェアから退出させる。*
- (8) 使用終了したら本器のメインスイッチを OFF にする。*

4. 使用方法等に関連する使用上の注意 *

- (1) チェアを作動、又は、回転させる前に、周りに障害物などがないか、バックシートの下に人がいないか、ステップの下に人がいないかを確認し、特に子供には注意すること。チェアのすき間に指などの体の部分が入っていないことを確認すること。事故につながるおそれがある。*
- (2) 患者がアームレストなどのチェアの一部を強く握りしめたり、すき間に指など体の部分が入っている状態でチェアを作動させないこと。挟まれて事故につながるおそれがある。*
- (3) オートポジションスイッチでチェアを作動するときは、必ず患者の動きや周りの機器に注意のこと。事故につながるおそれがある。*
- (4) ヘッドレストはしっかり支えて操作すること。またヘッドレストカバーをご使用の際には、滑らないようにしっかり支えて操作すること。ヘッドレストを急に上下すると患者に衝撃を与え事故につながるおそれがある。*

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意 *

〈使用前〉

- (1) 本器は、着座以外の姿勢で乗せないこと。チェアの上に立ったり、正座姿勢で乗せると、事故につながるおそれがある。*
- (2) 小さな子供を1人で座らせる時、又は、子供を抱いて座らせる時には、安全に十分注意すること。事故につながるおそれがある。*

〈使用後〉

- (1) 長時間使用しない時は、防ぐため、室内の電源ブレーカーを OFF にすること。漏電などにより思わぬ事故を起こすおそれがある。*

〈お手入れ〉

- (1) 外表面の清掃にはアルカリ性・酸性洗剤、クレゾール石けん液、薬品などは使用しないこと。変色・変質及び機器の故障の原因となる。
- (2) 血液や薬品が付着した時は、すぐに消毒用アルコールで清拭すること。変色・劣化の原因となる。*
- (3) 清掃に酸性水は使用しないこと。機器の損傷につながるおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件 *

下記の条件にて保管すること。*

- (1) 周囲温度：-10 ～ 70℃
- (2) 相対湿度：10 ～ 85%RH（結露しないこと）
- (3) 気 圧：700 ～ 1,060hPa

2. 耐用期間 *

10 年間。（自己認証（当社データ）による）

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。*

【保守・点検に係る事項】

- 1. 医療機器の使用、保守の管理責任は、使用者（医療機関、病院、診療所）側にある。

- 2. 保守点検は使用者側で行うのが原則であるが、実施されない場合には、医療機器修理業などの有資格者に外部委託することが認められている。

3. 日常点検及び定期保守点検 *

〔使用者による保守点検事項（日常点検）〕 *

使用前(毎回)に以下の項目にしたがって点検を行う。 *

No.	点検項目
1	手動スイッチによるチェアーの作動
2	オートポジションスイッチによるチェアーの作動
3	緊急停止機能の作動
4	回転機能の作動
5	ヘッドレストの作動
6	メインスイッチ・パイロットランプの点灯
7	チェアーロックスイッチの作動（タイプNのみ）
8	シート安全装置の作動（タイプNのみ）
9	ステップ下安全装置の作動（タイプNのみ）
10	トレーテーブルの作動（タイプK、Fのみ）
11	キャスターの作動（タイプE、Nのみ）

詳細は取扱説明書を参照すること。 *

〔使用者による保守点検事項（定期保守点検）〕 *

6ヶ月ごとに以下の項目にしたがって点検を行う。 *

No.	点検項目
1	手動スイッチによるチェアーの作動
2	オートポジションスイッチによるチェアーの作動
3	緊急停止機能の作動
4	回転機能の作動
5	ヘッドレストの作動
6	アームレストの作動
7	シート、バックシート、ヘッドレストのがたつき
8	チェアーロックスイッチの作動（タイプNのみ）
9	ベースとアウターハウジングの隙間
10	シート安全装置の作動（タイプNのみ）
11	ステップ下安全装置の作動（タイプNのみ）
12	トレーテーブルの作動（タイプK、Fのみ）
13	キャスターの作動（タイプE、Nのみ）
14	各銘板類、シール類の状態
15	外観の状態
16	本体の設置状態

詳細は取扱説明書を参照すること。 *

〔業者による保守点検事項（定期保守点検）〕 *

6ヶ月ごとに定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。 *

No.	点検項目
1	装置を作動させる電源電圧の測定
2	電気回路の配線
3	油圧回路の部品
4	本体のねじ部の締結
5	本体内部の汚染
6	本体の設置状態

詳細は取扱説明書を参照すること。 *

4. 交換部品、消耗部品については、取扱説明書に交換部品、消耗部品のリストを記載しているので、交換時期、消耗度合により交換する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社モリタ東京製作所

電話番号 048-723-2621

お客様専用フリーダイヤル 0120-131-557

受付対応時間 9:00～12:00、13:00～17:00**

(土・日・祝日を除く、弊社営業時間)**